

わかやまをつくり守っています。

# わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

## 第6回

### ぼうさい 防災のはたらきをもつ 道の駅

運転中の休けい場所としておなじみの道の駅。中でも2023年にできた海南市の『海南サクス』は「防災」の機能をもった新しい道の駅。150台分の駐車場と3日間使える非常用の発電機、約1,000人が1日過ごせる水や毛布などを備え、マンホールの上に一時的にトイレも設置できるんです。いざという時にこういう場所があると安心ですね！

普段は海の幸やスイーツなどの飲食スペースや産直マルシェなどのある道の駅が緊急時には防災拠点になります。

### こんなこと知ってる!?

#### 災害時に役立つマンホールトイレ

災害時には何気なく使っているトイレが使えないこともあります。でもできるだけトイレに行かないよう水分をがまんしたりすると体調が悪くなることも。そこで、活躍するのがマンホールトイレ。マンホールの上に囲いと便座を取り付ければ完成。地面の下にある浄化槽じょうかそうを通して下水道に流れるのでニオイもなく衛生的。段差がないのでお年寄りや車いすでも使いやすいのが特徴です。海南サクスの浄化槽は、たくさんの人が使えるよう大型の浄化槽がつけられています。



1つ1つの浄化槽が1ミリも狂いなく水平になっているか確認しながらとりつけ、完了したら水もれがないよう特殊な材料ですき間をふさいでいます。



### この人に 聞きました



建設は生まれ育った地域に貢献できる仕事です！

さいか しょう  
雑賀 聖さん  
有田市立保田小学校卒

#### 「自分の頑張りが形に残る素晴らしい仕事！」

日々、現場と職人さんが安全である環境を作り、作業をスムーズに進められるようにするのが僕の仕事です。自分たちが作った建物が形になって、みんなに喜んでもらえるとてもうれしい気持ちになります。南海トラフの巨大地震が来ると言われる中で、こういった取り組みはとても大事なことです。これからも自分の生まれ育った地域にもっと役立てるようにがんばりたいです。

知ってほしい、より安心の制度。

法定外労災  
補償制度

## 建設共済保険

公益財団法人 建設業福祉共済団

制度が変わって、安心充実。今すぐ、ご加入を！

掛金負担  
が軽減

手厚い  
補償

労働者と  
企業のリスク  
をカバー

一般社団法人和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通北1丁目1-8  
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を！

